

地域を元気にしたい！ 町づくりグループミーティング

町づくり応援隊「いいべ！ふかうら」



西巻 陽子さん

多くの人たちとのつながりや、助けがあって、元気直売所「まちなか」をオープンできました。「まちなか」では野菜よりも物産を買求める方が増えていきます。毎日のように来店される一人暮らしの高齢者の方もいて、逆に来れない日は、心配になってしまいます。また、常連さんには「野菜も食べなさい」とか、つい言ってしまいます。今年は暑い日が続いたので、店の中でアイスクリームを食べながら休まれる方もいました。そうしたら別のお客さんも加わって店の中が賑やかになります。こちらも嬉しくなりますね。「いいべ！ふかうら」の活動に参加することで新たな“つながり”ができますので、これからも頑張っていきたいです。



中林れい子さん

自分が参加して楽しくないものは続かないと思います。本当に自分たちが楽しんで、それを周りが見て、あいつら面白いことやってると、そして、皆が共感してくれて、一緒に行動できるようになればいいなと思います。



大沢 潤蔵さん

手始めに、お客さんを歓迎しましょうと手を振り隊をやってみました。すると、まったく話したことのない人が身近に感じられるし、向こうの人も真剣になって喜んでくれます。そして、反対側の座席からも立ち上がってきて手を振ってくれる。中には降りてきてくれたり。感動しました。継続は力なりという言葉がありますが、できれば週に一回、または月に2回とかそういう形でやっていくことによって、良い結果に結び付くと思うんですよ。



山本千鶴子さん (いいべ！ふかうら会長)

とにかく、深浦町を訪れる方々に歓迎の気持ちを伝えようとの思いで手を振ってみました。観光客が身を乗り出して手を振り返してくれ、とてもうれしく、やってよかったと思っています。人とのつながりを大切にして、メンバー同士が互いに協力し合いながら、今後も楽しく活動していきたいと思います。

社会環境の変化により、多種・多様化する住民ニーズの全てに行政が対応することは困難となっています。みなさんのような組織が、新しい公益の担い手として活動されていることをうれしく思いますし、これからも、地域課題解決に向けた取り組みを積極的に展開して欲しいと願っています。



吉田町長

町の将来や、住みよいまちづくりへの取り組みについて話し合う「町づくりグループミーティング」が8月17日、役場委員会室を会場に行われ、町づくり応援隊「いいべ！ふかうら」の会員11名が吉田町長と意見交換を行いました。

町づくり応援隊「いいべ！ふかうら」は、深浦町の魅力を伝え、地域を元気にしたいとの思いを共有する有志が集まって、今年5月に結成。6月27日には、おもてなしイベント「手を振り隊」をJR深浦駅で実施し、深浦町を訪れる観光客に手を振るなどして歓迎の気持ちを伝えました。グループミーティングでは、組織結成のきっかけや今後の取り組みなどについて、意見が交わされました。



- ◆開催日時 平成22年8月17日(火) 午後7時～午後9時
- ◆開催場所 役場2階 第1・2委員会室
- ◆参加者 <町づくり応援隊「いいべ！ふかうら」> 山本千鶴子さん、大沢潤蔵さん、宮野宜久さん、坂本悟さん、葛西広治さん、今まり子さん、西巻陽子さん、中林れい子さん、島元義彦さん、工藤正和さん、小林金雄さん

<町側> 吉田町長



手を振り隊1回目(6月27日)、乗客は応えてくれるかなあ。



手を振り隊2回目(7月4日)、前回よりも大きく手を振っています。



NHK旅するラジオに活動が取り上げられました。(8月23日)



手を振り隊3回目(8月4日)、手の振り方にも余裕が出てきて..



葛西 広治さん

観光客に歓送迎の気持ちを込めて手を振ることで、お互い気持ち良くなりますが、それだけでは物足りないと思い始めました。どうしたらこの町の魅力を伝え、外に発信することができるのか。この手を振り隊も毎日行うことはできませんが、私たちのグループに限らず、町内全体に広がっていったらいいなと感じています。

太宰治の読み聞かせを深浦駅で開催してもらったのをきっかけに、仲間に入れていただきました。今回の「手を振り隊」の活動は、JRの立場としても感謝しています。「いいべ！ふかうら」は、「楽しいことを笑顔で」取り組む会だと思っています。これからもみんなで協力して盛り上げていきたいです。



小林 金雄さん



宮野 宜久さん

深浦町に移り住んで2年になるとうとしています。退職後の人生、大好きな山と海に囲まれて生活したいと思い、富山の方から日本海を北上して探していたら、ここが一番気に入りました。住んでみて食べ物がこんなにおいしいとは思っていませんでした。少し前に近所の方からマグロの心臓をいただきましたが、料理の方法がわからなくて...。深浦町は農水産物が豊富なので、食材が集まる場所があればいいと感じています。

ピアハウスで、塩辛やのしかを出した時に、それを買われた東京の方から、「とてもおいしかった。自信をもって売って下さい！」と電話をもらいました。とても嬉しかったです。それが自信となって、今も続けています。ピアハウスがなくなって、どうしようかと思っている時に、山本さんに声をかけてもらい、私にも何かできることがあるんじゃないかと思って、手を振り隊の物販に参加しました。観光客の方々とのふれあいも楽しかったです。



今 まり子さん